

# 蹴友

開成サッカー部  
OB会誌 No.38  
2014年10月8日

…OB会費納入のお願い…  
サッカー部OB会では、現役とOBチームの活動をサポートするために、毎年金銭的援助を継続しております。一口五千元（出来れば二口一万円）の会費を何卒宜しくお願い致します。

振込先

ゆうちょ銀行 〇一九（ゼロイチキョウ部店）  
当座0250029 開成学園サッカー部OB会

平成二十六年

## OB会 総会

○日時

平成二十六年十一月二十三日（日）

○ゲーム

於・開成グラウンド／十二時三十分集合、十三時キックオフ

○総会・懇親会

於・開成食堂 十七時～十九時

会費 〈社会人〉一万円

※ 六十五歳以上と四十歳未満は五千元  
〈学生〉二千元 〈現役生〉無料招待

※ 同封の返信用葉書に出欠等を記入の上、十一月十四日（金）までに必ずご返送ください。  
会員名簿の資料になります。ご協力ください。

※ ゲーム 年配者にも優しい企画を心がけます。小雨にても決行。  
※ 懇親会 現役生も参加予定。会費にその食費も折り込んで設定。

## こらむ

▼衣食住、全てにわたって、メイド・イン・チャイナ製品が溢れんばかり。小生の気懸かりは、①産業の空洞化、②他国の労働者への間接的な搾取で、近ごろ日々、良いのかなと思いつつ、結局「お蚕ぐるみ」ならぬ「チャイナぐるみ」で着膨れている。

▼「物を作る」ことから遠くなると、物事の着想も貧困になる。また、他国の人々の低賃金の上に胡坐をかいていて、そのことに気付かずに、のほほんと過ごしている。これで良いのかな？▼サポーターとやら、何かを人にやらせるばかりで、無責任に騒ぎ立てて楽しむ。楽しめれば良い。さらに、軽薄なマスコミが加わって、その空虚な騒ぎに拍車をかける始末。先般の、我がサッカー・ワールドカップの顛末も、その見本の一つと言えようか。

▼遺伝子を調べる学習塾まで出現したそう。知育だけでは、真つ当な人間は育つまいに……。〈順〉



## 観戦記 《中学》

### 東京都私立中学サッカー大会 で三年連続ベスト4！

**5** 月21日から開催された東京都私立中学サッカー大会（75校参加）に二回戦から出場（昨年ベスト4により第4シード）、世田谷学園中を3・0、明法中を1・0と連破し、年末年始の首都圏私立中学校チャンピオンズカップ出場をかけた四回戦では駒場東邦中に2・1で逆転勝利、さらに、続く準々決勝で郁文館中を4・0で破り、3年連続ベスト4。最終日の準決勝では昨年優勝の駿台学園中（今年も優勝）と対戦、0・0（PK3・4）で惜敗し決勝進出は逃した。しかし、3年連続のベスト4は大したもの、年末年始の首都圏私立中学校チャンピオンズカップ（昨年度は予選リーグを一位通過し初のベスト8）が楽しみ。

#### （50分） — VS 駿台学園中 —

**駿** 台は序盤からDFラインを中心にボールを回しながら、ロングボールを放り込んでそのこぼれ球を拾って波状攻撃を仕掛ける、比較的シンプルな攻撃スタイル。開成はそのロングボールにはしっかり対応したが、中盤がこ

ぼれ球を拾えず、また拾われた後に入ってくるくさびのボールへの寄せが甘かったことから、ボールポゼッションは35・65といったところで苦しい時間帯が続いた。そんな中、DFラインの中心に居た10番の読みの良いカバリングが光った。開成も時折前線ではボールをひっかけて奪い、11番と8番を起点に相手ゴールに迫った。決定機はむしろ開成の方が多かったが、枠に飛んだのは1本だけでゴールを奪うには至らず。1つでも入っていれば…と思うと残念。この2人がボールを納めたときにサイドハーフなどが

タイミング良くサポートに入れば、もう少し自分達の時間帯を長く出来たものと思う。試合の終盤には駿台が上下にポジジョンチェンジをしながらボールをしっかりと繋いできたので開成はかなり走らされたが、集中力を切らさずに無失点でしのいでタイムアップ。PK戦は駿台が全て決めた一方、開成は4人目がポスト、5人目はゴン中山ばりに枠を大きく外し、3・4で敗れた。なお、駿台学園中は続く決勝でもPK戦を制して2年連続優勝。

（執筆：H3卒河西）



——開成中学サッカー部。  
年末年始の首都圏私立中学校チャンピオンズカップに期待。

## 《中学トピックス》

### ◇ 東京都中学選手権大会都大会 (48校) に進出出来ず！

東京都中学校サッカー総合体育大会の荒川・中央・台東区予選（24校参加）を一位で通過し、第5支部大会決勝リーグに進出。扇中（5・0）、足立学園中（0・1）、足立第七中（3・0）、結果3勝した足立学園中に及ばず都大会進出を逃した。

### ◇ 東京都春季サッカー大会都大会 (32校) に進出出来ず！

東京都中学校春季サッカー大会第5支部大会（足立区、荒川区、中央区、台東区）の予選トーナメント（44校参加）を勝ち抜き、決勝リーグに進出。朝鮮第一中（2・2）、谷中中（1・0）、荒川九中（0・0）、結果得失点差で朝鮮第一中が都大会へ進出した。

## 観戦記 《高校》

### 高校サッカー選手権大会地区予選二回戦で敗退！



国高校サッカー選手権大会の予選（今年から地区予選ではなく東京都の全300校弱をA、B、Cにグループ分けし、各予選トーナメントを勝ち上がった32校とシードされた11校で都大会を開催）の一回戦（8月12日）で順天高校（北区）と対戦し3・0で快勝、二回戦（8月15日）で名門本郷高校（豊島区）と対戦、0・4（0・1、0・3）で敗れた。やはり、高三のチーム相手では前半は互角な勝負だったが、後半立て続けに得点された。秋の新人戦を期待したい。



——開成高校サッカー部。秋の新人戦では是非。

※東京都高等学校体育連盟サッカー専門部のHP  
<http://tokyosoccer-u18.com/>



### 〈70分〉 I VS 本郷高校

島区南大塚在住の私・中村にとつては巣鴨にある本郷高校は近くて助かりました。また、本郷高校での試合観戦はS 57卒のメンバーが新人戦の決勝（本郷高校に0・1で負け？）以来約35年振りで、グラウンドはきれいな人工芝になっていた。本郷高校はCBの二人とCFが180cm以上はある大型イレブン。本郷の攻撃は大型だが足下も上手いCFにボールを入れ、そこから展開するパターン。10分には左サイドでCFにスルーパスが通りGKと1対1

になるが飛び出したGKがナイスセーブ。開成の攻撃はツートップ下のMF10番からの展開が中心で、14分、15分と左右のHBにスルーパスが通りシュートまで持ち込んだが決めきれない。開成の速い潰しでなかなかチャンスが作れない本郷は20分過ぎから右サイドライン際に開いて待ち受けるFW11番にボールを預け、スビードのあるドリブル突破から展開を図り何度かCKを得る。CKから長身のCBとCFのヘディングが脅威になる中、25分、右CKから押し込まれ先制される。開成は前半のうちに同点に追い付こうと攻勢をかけ、26分、28分と左サイドを突破してからのセンターリングを中央でMF10番、FW11番が合わせたが決めきれず0・



1で前半を終了。後半も本郷は右サイドから攻勢をかける。CKが何度か続く中、40分、右CKからのクリアミスで左サイドに展開され、その折り返しをヘディングで押し込まれ追加点を奪われる。開成はシュートカウンターからチャンスを抑むがシュートの精度が欠けゴールにならない。開成が前掛かりになり、ディフェンスのマークにズレが出てくるとスビードのある11番に裏を取られ、57分、66分と追加点を奪われ、結局0・4で敗退。前半のチャンスを決めて同点にしておけば相手も慌てたのだろうが、相手のペースを崩せなかったのは高三のチームと高三のチームの違いか……？

### 高校総合体育大会東京都東支部予選ブロックの一回戦で敗退！

5

月4日（祝）高校総合体育大会東京都東支部予選（第1地区…江戸川区・江東区・葛飾区・墨田区・荒川十第2地区…足立区・文京区・豊島区・中央区の62校）のブロックトーナメント（6校）の一回戦で郁文館と対戦したが、4・0で完敗。

が、4・0で完敗。



## 観戦記《OB》

荒川区サッカー選手権で決勝進出、連続優勝を目指す！

**荒**

川区サッカー選手権の初戦（5月11日）で2部所属の荒川SCと対戦、5・0で勝利、続く三回戦（5月18日）は不戦勝、準決勝（6月15日）では1部所属のグリーンジョと対戦、0・0からのPK戦（5・4）で勝利し決勝進出を決めた。昨年に続き2年連続優勝を目指す。



——開成サッカー部OBチーム（監督は中村会長）。

荒川区サッカー協会のHP <http://www.arakawafa.org/>

## 〈60分〉ⅠVS荒川SC

**両**

チームとも人数が揃わず、開成OBが9名、荒川SCが8名で試合開始。一人多い開成OBが圧倒的にボールを支配し攻撃する一方、荒川SCは引いたディフェンスからワントップにロングパスを狙うという展開が続く。5分、4-4-2の布陣の左HB長坂からのアーリー気味のクロスでFW大野がヘディングで決めて先制。10分、右サイドのオーブンスペースに走り込んだMF草川にパスが通りセンターリング、逆サイドから詰めたHB長坂がフリーでフッシュして2・0。さらに攻め立てたが追加点を奪えず、前半はそのまま終了。後半もボールをキープして攻撃するがシュートが甘く得点できない。しかし、両サイドからの度重なる攻撃に相手の足が止まり出した43分、左サイド深く持ち込んだHB長坂からのセンターリングをFW大野がまた頭で決めて3・0（大野は足でのシュートチャンスはことごとく外した）。その後、完全に足が止まった相手からFW鏡が56分&59分と追加点を奪い、結局5・0で勝利した。

東京都社会人リーグは今年も3部昇格は難しい……？

**東**

京都社会人リーグ（4部9ブロック）10チーム）ではあと1試合を残し、通算で4勝2敗2分。

荒川区社会人リーグは1勝1敗1分け！

**7**

月21日、荒川区社会人リーグ（8チーム）の第3戦でシーラカンスに3・1（0・0、3・1）で勝利、通算で1勝1敗1分け。

## 〈60分〉ⅠVSシーラカンス

**9**

人のシーラカンスは11人の開成OBに対して中盤のエース11番を最終ラインに置き守りを固め、守備ではオフサイドトラップ、攻撃では11番からのロングフィードでのカウンター狙いという戦術。前半、2人多い開成OBはボールをキープして攻撃するが、動きがかわみ合わず相手のディフェンスラインを崩せないまま無得点に終わる。後半、開成OBも1人外れたので10人对9人に。それで相手が油断したのか、開成のキックオフから左SB堅元にボールが渡るとFW境野がバックラインの裏に動き出し、オフサイドギリギリのタイミングで堅元か

# 全学年忘年会 ご 案 内

変わらぬ面影。  
なつかしいあの頃。  
学年毎にお誘い合わせ、お越しください。

- ◆と き 12月4日(木) 18時～
- ◆ところ JR神田駅東口北京料理「好好(ハオハオ)」  
神田ふれあい通り商店街入口右2F  
※「好好」は開成山岳部の先輩のお店です！  
TEL 03-3255-8080
- ◆参加費 社会人 5,000円  
学 生 2,000円

らスルーパス、GKとの1対1を決めて先制。40分  
左サイドライン際でボールを受けた左SB堅元が今度  
はドリブルで縦に突破、ゴールラインまで持ち込んで  
のセンターリングを戻った相手BKがOWNゴールで  
追加点。さらに55分、センターラインでMF池田がフ  
リでボールを受けると右SB森泉がタイミングの良  
い動き出し、池田からのスルーパスを受けてフリーで  
右サイドから切り込みGKとの1対1を決め、3:0。  
終了間際に相手のカウンターを許し得点を決められ  
たが、3:1で終了。

※東京都社会人サッカー連盟4部のHP  
<http://www.tsl4.jp/main.html>



## O Bチーム！ 随時メンバー大募集中！

O Bチームは、東京都社会人リーグと荒川区社会人リーグの両方で活動していきますのでメンバーを募集しています。是非、キャプテンであるH17卒の草川君に連絡してください。開成で仲間と楽しんだサッカーを卒業しても続けましょう。草川「いつでも連絡お待ちしております(^)」

※開成サッカー部O B会HP  
<http://www.kaiseiob-football.com/team.html>

### キャプテン草川連絡先

- ◇ mail : pep\_4\_xavi\_6@yahoo.co.jp
- ◇ LINE ID : pep4xavi6
- ◇ Facebook <<草川雄介>>  
<https://www.facebook.com/profile.php?id=100003342502461&fref=ts>



# 再びオリンピックをめぐって

昭和三十三年卒 榮 隆男

一九六四年の東京オリンピックの後、日本代表コーチであった、デット・マール・クラマー氏の提案を受け、翌、一九六五年に発足したのが日本サッカーリーグ（JSL）であった。

古河電工、三菱重工、日立本社、豊田自動織機、名古屋相互銀行、ヤンマーディーゼル、東洋工業、八幡製鉄の8チームによりスタートした日本サッカーリーグは、アマチュア競技で全国レベルのリーグの始まりであり、後にバレーボール、バスケット、ラグビーの全国リーグの先駆けとなった。

一九六八年のメキシコオリンピックで稀代のストライカー釜本那茂、俊足ウイングの杉山隆一を擁した日本は準決勝まで勝ち上がり、三位決定戦で地元メキシコを破り銅メダルを獲得した。その結果、サッカーブームは七〇年代前半までは続いた。しかし、その後の日本代表は、一九九六年のアトランタオリンピックまで二十八年間、東アジアの枠を得られずオリンピック出場を逃し続けたのである。JSLの人気も低迷し、サッカーは冬の時代に入ってしまった。そうした中で、社業よりもサッカーを優先する企業アマ、さらに

スペシャル・ライセンスプレイヤー制度を用いた、日産自動車や読売クラブといったプロ化を視野に入れたチームが台頭し、プロ化への声が高まり一九九二年三月を以って、ついにアマチュアリーグを掲げたJSLは廃止された。翌一九九三年、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）が始まったのである。

ところで、以前、私は、日本はなぜ、ワールドカップでなくオリンピックに拘り続けるのかと書いたことがある。理由は、日本サッカー協会はアマチュアスポーツの総本山の日本体育協会傘下の団体であり、オリンピックの出場もアマチュア倫理規定にそって図られていたからである。また、ワールドカップは、日本の実力からいっても埒外の大会であった。しかも、世界のサッカーの最高峰は紛れも無くワールドカップであり、ワールドカップサッカーは、世界最大のスポーツ大会である。

## 『オリンピック、そしてスポーツの意味』

近代オリンピックは、スポーツを通じての世

界平和を願うフランス人クーベルタン男爵の呼びかけに応じて、パリ・ソルボンヌ大学で開かれた会議によって、オリンピック・ムーブメントとして始まったことは、つとに知られている。

オリンピックは、人類が国家や民族を超えて技と力と知恵を競い合うスポーツの祭典であり、同時に平和の祭典である。大会は一八九六年の第一回アテネ大会以来、既に百年を超えている。しかし、オリンピックは百年の歴史の中で、時代や社会の変動に絶えず晒され、時に中止に追い込まれてもきている。一九一六年、第五回ベルリン大会は第一次世界大戦のため、一九四〇年、第十二回東京大会、同じく、一九四四年第十三回ロンドン大会は、第二次大戦のため中止になっている。一九六八年、第十九回メキシコ大会は黒人差別への抗議の場となり、一九七二年、第二十回ミュンヘン大会では、アラブゲリラによるイスラエル選手団に対するテロ事件が起きている。一九七六年、第十二回モントリオール大会では、ニュージーランドラグビーチームの南アフリカ遠征が人種差別を助長しているとして、アフリカ二十二カ国が бойкот、一九八〇年、第二十二回モスクワ大会をソ連のアフガニスタン侵攻に抗議したアメリカ、西ドイツ、日本などの西側諸国が бойкот、そして、一九八四年、第二十三回サンゼルス大会

をハンガリーを除く東側諸国が報復のボイコット。

このように、オリンピックの歴史には正に人間の歴史がそのままに反映されている。オリンピックは戦争や政治はもとより、商業主義、アマ・プロ問題、そして、ドーピング等など、その時代や社会に翻弄され続けてきた感さえある。にも拘らず、オリンピック・ムーブメントは続けられてきたのは何故だろうか。また、オリンピックの他に、人類が一同に集い合い、しかも、フェアという精神の元に競い合い、友好を交わす場は無いのも事実である。

### 『より速く、より高く、より強く』

これは、オリンピックのモットー（標語）として、よく知られている言葉であるが、その言葉はまた、人間性の本質と尊厳を表した言葉でもあるのである。人間性の本質は、『志向性』にある。昨日より今日、今日よりは明日と、我々人類の歩みはより善いもの、より高いもの、より美しいものを自らの中に求め続けた歩みである。人類の進歩の根底には、この志向性、すなわち向上性という人間の本質が通底している。古代ギリシャ人は、『ただ生きるのではなく、より善く生きること』に人間の意味を謳い

上げている。この人間性の真骨頂を示してくれるのがトップアスリートであり、その場がオリンピックという場である。

### 『自己目的々行動としてのスポーツ』

スポーツは自由な自己目的々行動である、といわれる。それが好きだからそれを行っているのであって、他の目的の為ではない。スポーツの根底には自由性という、人間の尊厳に関わる本質が根ざしている。誰の為でもなく、自らが愛する最も大切なものを追求する行為。それはアマチュアリズムと呼ばれる。アマチュアとは、ラテン語の *amateur* を語源としている。すなわち *amator* は *lover*、愛する者、愛するから、好きだからそれを行っている者、という意味であり、その行為による見返りや、報酬などは求められてはいない。

一九七二年のミュンヘンオリンピックのアメリカの競泳選手で、マーク・スピックという選手がいた。彼は、100M、200M自由形、100M、200Mバタフライ、400Mリレー、800Mリレー、400Mメドレーの7冠を制し、しかもその全てが世界記録であったのである。7冠全てが世界記録であったその結果は驚異的なものだが、注目すべきは、

その記録を生んだ彼のトレーニングの方法であり、それはまるで宗教的な修行者のようなものであったと伝えられているのである。今のよう筋力強化の方法やマシンがまだ無い時代であった。彼は、真夏に自分の家の庭に2m×2m×2mの四方形の穴をスコップで掘りその土を埋め戻し、また掘り上げ、また戻すという行動を延々と繰り返し行つたというのである。すぐれたアスリートの中には、少なからずそのような求道的な者がいる。

誰の為でもない、自分が愛する事のために自己目的々に行われる自由な行動、そして行為、それが、人類をここまで進めてきたのである。私たちは、オリンピックに、いや、トップアスリートに、最高の勝負と、最高のアピールを観る。しかし、それは単にスポーツのというよりは人間性のそして、人間の尊厳の最も高いものを視ている、あるいは期待している、といつてもよいかも知れないのではないか。最高のプロフェッショナルは、いつも最高のアマチュアリズムにより成り立っているではないだろうか。厳冬のマッキンリー山に登頂し、下山中に逝ってしまった植村直己という冒険家は、正にその一人であったと思われる。真にすぐれたアスリートには常に人間の潔さと覚悟がその姿に風格として漂っているように思われる。ヤン



## 榮 隆男 氏

昭和 14 年生まれ東京都出身。開成高校卒業後、早稲田大学に進む。早稲田大学で蹴球部在籍。1979 年よりフットサルにかかわり現在に至る。1982 年よりフットサル連盟理事長就任。1994～2004 年まで日本サッカー協会特任理事（フットサル委員長）。日本のフットサル発展の中心的役割を果たす。2006 年同連盟退任。

キースのイチローにその片鱗を感じるのは私だけであろうか。ともあれ、オリンピックを、そして、スポーツを人間性の本質と、その尊厳という視点から観てみたら如何なものだろうか。巡り来る東京オリンピックが、とにかく楽しみな今日このごろである。

なお、スポーツの真髄について興味のある方々は、私が編集に深く関わった、大西鉄之佑氏の「闘争の倫理」二玄社版、または中央公論新社版をお奨めする。

了



## 2014フットサル大会&懇親会

6

月7日（土）に予定していたOB会恒例の「OB親睦―学年対抗フットサル大会」が大雨で流れたため、日程を9月13日（土）に変更し、改めてジョモニスタ南与野で開催しました。三連休ということもあり、参加者は25名前後と例年の半分以上という結果に終わって

しまいました。各年代が入り混じった楽しいフットサルでいい汗をかきました。フットサル後の懇親会も20名というこじんまりとしたものですが、和気あいあいと歓談し世代を超えた楽しい時間を過ごしました。このフットサル大会は来年も6月上旬に開催いたしますので奮ってご参加ください。

（執筆…S 60 卒安藤）



編集人：新井順平（H17 卒）

発行人：中村利尚

印刷：（株）新生社